


## 世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マークの記入例

良い例	悪い例
●	

〔I〕 次の文章を読み、下記の間(1～4)に答えなさい。

人類はこれまで、さまざまな形で歴史を文字や絵に残してきた。現在の私たちは、それらの多様な史料を駆使することによって歴史像の再構築を試みている。

史料はその視点から2つに大別することができるだろう。第1に「自身」の目と手によって描かれたもの、第2に「他人」、特に外世界の人々の目と手によって描かれたものである。

前者の代表的な事例は、中国の ① であろう。中国では ② 王朝時代以降、王朝交代のたびに皇帝の勅命によって、前王朝の史料を編纂することが慣例となった。また、それよりもはるか昔に著された『史記』、『漢書』、『後漢書』、さらには『三国志』もまた前四史と呼ばれ、 ① として追認された。

東南アジアにもまたこうした「自身」の手による史料が中国とは違う形で残されている。例えば寺院の壁などには ③ を題材としたレリーフや貿易船の様子が刻まれ、文字ではないが往時の王国や社会の様子を伝えている。また、石などにも文章が刻まれた。これらは碑文・刻文などと呼ばれ、断片的ではあるが古代東南アジアの様子を今日にまで伝えている。

外世界の人々が残した史料はたくさん存在する。1世紀頃に書かれた『 ④ 』には東南アジアや南アジアに関する記述が見られる。この他『漢書』では古代のアジアの王国や貿易の様子がわかる。また5世紀の中国の僧侶の旅行記『 ⑤ 』からは南アジアの状況がわかる。

また、旅行記としてはムスリムが残したさまざまな記録が重要な役割を果たしている。中でも ⑥ が残した『三大陸周遊記』は貴重な史料である。さらに、旅行記はいわゆる「大航海時代」にはいると、ヨーロッパにアジア世界の状況を文字の形で伝えた。

問 1 文章中の空欄(①～⑥)に最も適する語句を、次の語群(A～U)から選びマークしなさい。

【語 群】

- |                |               |
|----------------|---------------|
| A. 地中海         | B. イブン=バットウータ |
| C. ハンムラビ法典     | D. 宋          |
| E. ラーマーヤナ      | F. 南海寄帰内法伝    |
| G. 正 史         | H. 仏国記        |
| I. サンスクリット     | J. イブン=ハルドゥーン |
| K. 隋           | L. 竹 簡        |
| M. エリュトウラー海案内記 | N. 地理志        |
| O. 唐           | P. ミニアチュール    |
| Q. 千夜一夜物語      | R. 編年体        |
| S. 伝奇物語        | T. ルバイヤート     |
| U. 紀伝体         |               |

問 2 下線部(a)に関し、この史料について述べた文として最も適するものを選びなさい。

- A 司馬遷死後、班固の手によって完成された。
- B 『本紀』、『列伝』の他、諸制度を著した『書』など5つから構成される。
- C 前漢の光武帝の時代までを描いた「通史」である。
- D この史料は、1つの王朝のみを扱った「断代史」の形式を取っている。

問 3 下線部(b)に関し、この地域の文化について述べた文として最も適するものを選びなさい。

- A レリーフの素材となった『マハーバーラタ』はパспа文字で書かれた叙事詩である。
- B 上座部仏教を保護したスコタイ朝では、タイ文字がつけられた。
- C チャム人がおこしたアンコール朝では、アンコール=ワットなどが建設された。
- D パガン朝では、仏教が手厚く保護されグプタ式仏像や石窟寺院が多数建設された。

問 4 下線部(c)に関し、イスラームとムスリムに関して述べた文として最も適するものを選びなさい。

- A 中国ではタージー(大食)とよばれたムスリムは、ジャンク船やダウ船を利用して、世界各地で貿易活動に従事した。
- B ヨーロッパにはイスラーム世界で発明された羅針盤がもたらされ、大航海時代に活用された。
- C 宋王朝が導入した市舶司はムスリム商人をその出身地ごとに管轄した。
- D 東南アジアの最初のイスラーム王国がスマトラ島に誕生した。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の間(1～6)に答えなさい。

歴史家 ① の『ローマ建国史』によれば、ローマ建国の年は紀元前 753 年である。ラテン人がティベル(テヴェレ)川沿いに都市国家を建設したのがそのはじまりとされる。はじめは王政であったが、後に共和政に移行した。初期の共和政においては貴族が権力を握っていた。しかし、やがて平民が台頭するようになった。その背景には、重装歩兵としての平民の活躍があった。平民の権利をまもる官職としての護民官が設置されたほか、十二表法、リキニウス・セクステイウス法、ホルテンシウス法などにも平民の力の増大の反映が見られる。<sup>(a)</sup>

紀元前 ② 世紀に、ローマは南イタリアのギリシア人諸都市を征服してイタリア半島を統一した。ローマは、さらに西地中海の覇権をめぐってフェニキアの植民市 ③ と対立し、ポエニ戦争を引き起こした。ポエニ戦争でローマ軍は、敵将 ④ のために苦戦を強いられたが、最終的には勝利を収めた。また同じ頃、ローマはギリシア全土を征服し、支配下に置いた。

このような急速な対外発展は社会の変質を招き、ローマの共和政は不安定なものとなった。改革も試みられたが成功せず、ローマは内乱状態に陥った。私兵を率いた有力者によって権力闘争がおこなわれるようになり、元老院中心の政治体制は崩れていった。<sup>(b)</sup>

紀元前 1 世紀には、ポンペイウスとカエサルと ⑤ による三頭政治がおこなわれた。しかし、後にポンペイウスはカエサルと対立し、カエサルによって倒された。カエサルは独裁官としてさまざまな業績をあげたが、彼の独裁に反対する人々によって暗殺された。<sup>(c)</sup>

カエサルの死後、オクタウィアヌスとアントニウスとレピドゥスによる三頭政治がおこなわれたが、やがてアントニウスはオクタウィアヌスと対立し、オクタウィアヌスによって倒された。こうしてオクタウィアヌスが実権をもつことにより内乱時代は終わり、ローマは帝政期を迎える。<sup>(d)</sup>  
<sup>(e)</sup>

問 1 文章中の空欄(①～⑤)に入る言葉として最も適するものを選び、その記号(A～D)を解答欄にマークしなさい。

- ① A タキトゥス B リウィウス C プルタルコス D ストラボン
- ② A 3 B 4 C 5 D 6
- ③ A テーベ B コリントス C ミレトス D カルタゴ
- ④ A スキピオ B ハンニバル C ミトリダテス D ハドリアヌス
- ⑤ A マリウス B グラックス C スラ D クラッスス

問 2 下線部(a)の「リキニウス・セクスティウス法」について述べた次の文の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- A この法を制定したのは、護民官である。
- B この法には、土地所有の制限についての条項がある。
- C この法では、コンスルの1名は平民から選出されるよう定められている。
- D この法では、平民会の決議は元老院の承認なしに国法として有効であることが定められている。

問 3 下線部(b)の「社会の変質」について述べた次の文の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- A 属州に赴任した総督や徴税請負人が赴任地で収奪をおこない、富を蓄えるようになった。
- B 商工業の急速な発展により富裕な元老院議員が増えたが、特に富裕な元老院議員には騎士の身分が与えられた。
- C 重装歩兵として戦っていた中小農民の多くが、農地の荒廃や属州からの安価な穀物の流入などのために没落した。
- D 大きな土地でのオリーブやブドウの栽培に、戦争によって流入した多数の奴隷が使役されるようになった。

問 4 下線部(c)の「カエサル」について述べた次の文の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- A カエサルは平民派の政治家であった。
- B カエサルは三頭政治の開始後、ガリア遠征をおこなった。
- C カエサルが独裁官となったのは、ガリア遠征前であった。
- D カエサルが定めたユリウス暦は、エジプトの太陽暦に基づくものであった。

問 5 下線部(d)の「三頭政治」を担った政治家について述べた次の文の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- A アンTONIUSとレPIDIUSは、カエサルの部将であった。
- B アンTONIUSはセレウコス朝最後の女王クレオパトラと結んでオクタウィアヌスに対立した。
- C アンTONIUSはアクティウムの海戦でオクタウィアヌスに敗れた。
- D オクタウィアヌスは紀元前 27 年、元老院からアウグストゥスの尊称を贈られた。

問 6 下線部(e)の「帝政期」に活躍した人物について述べた次の文の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- A セネカやマルクス = アウレリウス = アンTONIUSは、ストア派の哲学者に数えられる。
- B 小アジア出身のストラボン、ラテン語で『地理誌』を著した。
- C プロティノスは、絶対的な「一者」について考察した新プラトン主義を代表する哲学者である。
- D 『告白』の著者アウグスティヌスは、キリスト教思想にたいへん大きな影響を与えた教父である。

〔Ⅲ〕 次の文章中の空欄(①～⑩)に入る言葉として最も適するものをそれぞれ選び、その記号(A～D)を解答欄にマークしなさい。

イエスの死後、ペテロやパウロなどの使徒が中心となって伝道活動を開始したキリスト教は主に ① を話すユダヤ人集団を介してローマ帝国各地に広まり、多くの信者を獲得していった。『新約聖書』も最初にこの言葉で書かれている。キリスト教徒は皇帝崇拜を拒んだために反社会集団と見なされ、歴代の皇帝から激しい迫害を受けた。だが、迫害にもかかわらず、キリスト教は奴隷・女性・下層市民などの社会的弱者ばかりか、社会上層部にも拡大し、大きな勢力となったため、313年、ローマ皇帝 ② はミラノ勅令を発し、キリスト教を公認した。

しかし、当時はまだキリスト教の内部で教義が確立していなかったことから、イエスの神性を巡って激しい論争が起こった。その調停のために ③ によって325年に ④ 公会議が開かれたが、そこでは、神の子であるイエスは父なる神と同質であると見なす ⑤ が、神の子イエスは被造物たる人間であるゆえに神に劣るとする ⑥ を論駁し、正統教義とされるに至った。392年、ローマ皇帝 ⑦ は ⑧ を国教とし、他のキリスト教宗派を禁じた。

その後、イエスにおける人性と神性の共存の問題を巡って起こった単性説・両性説論争の裁定のために431年に開かれた ⑨ 公会議において、イエスの人性と神性を分離するという両性説を取った ⑩ が異端として退けられた。⑩ はササン朝ペルシアを通して唐代の中国に伝わり、⑪ と呼ばれることになる。

一方、ローマ帝国領域外に定住していたゲルマン人の中には ⑫ が広がった。その結果、西ローマ帝国崩壊後に興ったゲルマン諸王国の多くでは、この宗派が信じられていたが、ひとり ⑬ 王国のみは、初代の王が ⑭ に改宗したことから、王族・貴族の間でもこの宗派が信じられるようになり、ローマ教会とも友好的な関係を保つことが可能となった。



- 空欄① A ラテン語 B ヘブライ語  
 C ギリシア語 D ペルシア語
- 空欄② A テオドシウス B コンスタンティヌス  
 C ディオクレティアヌス D ユリアヌス
- 空欄③ A エフェソス B ニケーア  
 C コンスタンティノポリス D アレクサンドリア
- 空欄④ A アリウス派 B サベリウス派  
 C アタナシウス派 D ネストリウス派
- 空欄⑤ A アリウス派 B サベリウス派  
 C アタナシウス派 D ネストリウス派
- 空欄⑥ A テオドシウス B コンスタンティヌス  
 C ディオクレティアヌス D ユリアヌス
- 空欄⑦ A エフェソス B ニケーア  
 C コンスタンティノポリス D アレクサンドリア
- 空欄⑧ A アリウス派 B サベリウス派  
 C アタナシウス派 D ネストリウス派
- 空欄⑨ A 祊けん 教きょう B 景 教  
 C 明 教 D 回 教
- 空欄⑩ A ブルグンド B アングロ=サクソン  
 C 西ゴート D フランク

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の間(1～11)に答えなさい。

宣統帝  は清朝最後の皇帝として知られる。1908年、3歳で即位したが、 革命により1912年に退位した。

清朝は1901年に鎮まった  以後、 と呼ばれる一連の改革に着手したが、同時に清朝打倒の革命運動も急速に進展していた。1911年5月、清朝が鉄道国有化令を出し、反対運動を厳しく弾圧すると、 も満州人支配の延命策に過ぎないことが明らかとなり、革命気運はいつそう高まった。 で始まった暴動が激しさを増すなか、1911年( の年)10月10日、その鎮圧を命じられた  の新軍が革命側に立って挙兵すると、蜂起は一気に広がり、14省が独立を宣言した。翌12年1月、中華民国の建国が宣言され、2月には  が退位して、ここに中国史上初の共和国、中華民国が成立した。

だがまもなく、中華民国の実権は軍閥の  に奪われ、孫文ら革命派<sup>(a)</sup>が目指していた、三民主義ほか、中国革命の課題の実現は遠のいた。また1916年に  <sup>(b)</sup>が没すると、北京政府の実権をめぐって、軍閥諸派の争いが始まった。軍閥は地方に基盤を持ち、民衆を封建的に支配・搾取したが、その背後には帝国主義列強の支援があり、中国の分裂と民衆の困苦を助長した。たとえば東北軍閥  派の首領である  は日本の  の支援を受けていた。このように軍閥諸派がしのぎを削るなか、 は1924年、北京から追放された。

しかし軍閥の勢力も長くは続かなかった。 に追われたあとに国民党を組織した孫文の死後、同党内で  が実力を伸ばし、国民革命軍の総司令となって、1926年、北方の諸軍閥を打倒するための  を始めた。この  軍が1928年6月に北京を占領、そして12月末、東北軍閥の  が国民政府に忠誠を示したことで、中国統一(国民革命)はひとまずの完成をみた。

ただしその一方、中国東北部では日本の侵出が進んでいた。1928年6月、 軍に敗れた  が  への帰還途上で  に爆殺

され、さらに1931年、は、郊外ので、みずからの管理下にあった南満州鉄道を爆破、これを軍の仕業として軍事行動を起こし、満州の侵略を開始した。この流れのなかで、は天津から日本特務機関に連れ出され、1932年に建設された日本の傀儡国家・満州国(首都は)の摂政に、そしてその2年後には皇帝に据えられた。

第二次世界大戦終結とともに、満州国は消滅した。はソ連に捕らえられ、1950年に帰国、戦犯として服役したが、59年には出所、その後は一市民として余生を送った。そして1967年、プロレタリア文化大革命<sup>(c)</sup>による国内の大混乱のさなか、波瀾に満ちたその生涯を閉じた。

問1 空欄～に入る語句の組み合わせとして、最も適するものを選び、その記号(A～E)をマークしなさい。

- A ア 辛亥 イ 戊戌の政変 ウ 光緒新政
- B ア 辛亥 イ 義和団事件 ウ 戊戌の変法
- C ア 辛亥 イ 義和団事件 ウ 光緒新政
- D ア 甲午 イ 義和団事件 ウ 光緒新政
- E ア 甲午 イ 戊戌の政変 ウ 光緒新政

問2 空欄～に入る地名ないし場所名の組み合わせとして、最も適するものを選び、その記号(A～E)をマークしなさい。

- A カ 武昌 キ 四川 ク 柳条湖
- B カ 四川 キ 武昌 ク 柳条湖
- C カ 武漢 キ 四川 ク 盧溝橋
- D カ 四川 キ 武昌 ク 盧溝橋
- E カ 四川 キ 武漢 ク 柳条湖

問 3 空欄  ～  に入る人名の組み合わせとして、最も適するものを選び、その記号(A～E)をマークしなさい。

- A サ 袁世凱 シ 張作霖 ス 張学良
- B サ 袁世凱 シ 張学良 ス 張作霖
- C サ 張作霖 シ 袁世凱 ス 張学良
- D サ 張作霖 シ 張学良 ス 袁世凱
- E サ 張学良 シ 張作霖 ス 袁世凱

問 4 空欄  と  に入る都市名の現在の名称の組み合わせとして、最も適するものを選び、その記号(A～E)をマークしなさい。

- A タ 瀋陽 チ 丹東
- B タ 丹東 チ 長春
- C タ 長春 チ 瀋陽
- D タ 瀋陽 チ 長春
- E タ 丹東 チ 瀋陽

問 5 下線部(c)に関して、次の文はプロレタリア文化大革命を説明したものである。空欄  ～  に入る人名の組み合わせとして、最も適するものを選び、その記号(A～E)をマークしなさい。

プロレタリア文化大革命とは、当時権力を失っていた  がその奪回に立ち上がって始まった権力闘争であり、文化闘争・思想闘争の形をとって展開された。 は、そのころ権力の中枢にいた ・  らを、資本主義復活をはかる者という意味の「実権派」「走資派」と呼んで批判し、学生を中心にしてつくられた組織である紅衛兵を動員して大衆運動を盛り上げた。

- A ナ 毛沢東 ニ 劉少奇 ヌ 鄧小平
- B ナ 毛沢東 ニ 林彪 ヌ 鄧小平
- C ナ 毛沢東 ニ 林彪 ヌ 劉少奇
- D ナ 周恩来 ニ 林彪 ヌ 鄧小平
- E ナ 周恩来 ニ 劉少奇 ヌ 林彪

問 6 空欄  に入る人名を漢字 2 字で書きなさい。

問 7 空欄  は 1919 年に設置された日本の陸軍部隊であり、ある半島の南部と南満州鉄道を警備するために駐屯した。この半島の名を漢字 2 字で書きなさい。

問 8 空欄  に入る人名を漢字 3 字で書きなさい。

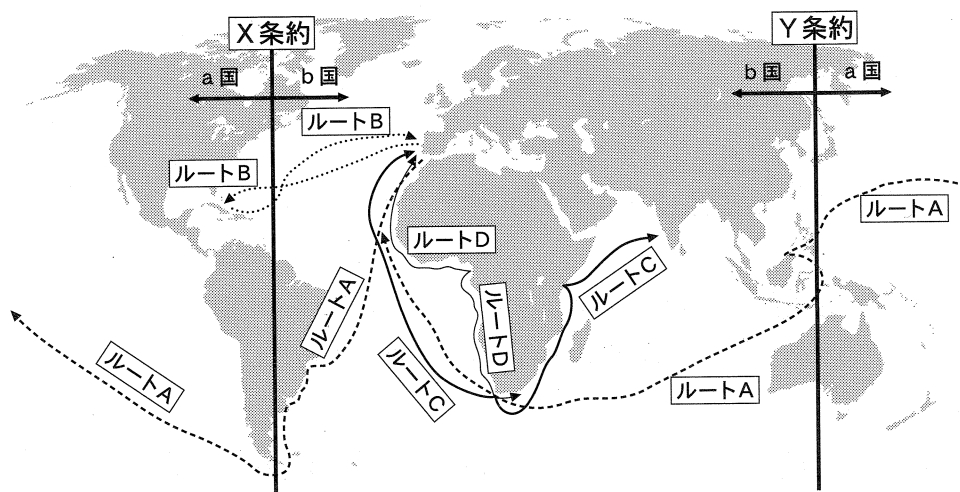
問 9 空欄  に入る語句を漢字 2 字で書きなさい。

問10 下線部(a)に関して、孫文は 1905 年、東京で革命団体をつくり、革命諸勢力を結集した。この団体の名を漢字 5 字で書きなさい。

問11 下線部(b)に関して、「三民主義」について 3 行以内で説明しなさい。

〔V〕 下図(図A)は15世紀後半から16世紀半ばにかけての「大航海時代」における主な航海ルートの概略図である、この図に基づき、以下の問(1～4)に答えなさい。

【図A】



問 1 ルートA～Dの航海において船隊を率いた人物の名前をそれぞれ挙げなさい。

問 2 「大航海時代」を主導したヨーロッパの2カ国(a国とb国)は、X条約とY条約を締結し、おおむね図Aに示されたような形で、世界における両国の「領有権」を確定させた。図Aに基づき、それぞれの条約名とa国及びb国の国名を答えなさい。

問 3 以下のア、イ、ウ、エを年代順に古いものから正しく並べなさい(解答には記号ア～エを用いること)。

- ア ルートAの航海
- イ ルートBの航海
- ウ X条約の締結
- エ Y条約の締結

問 4 図 A に示された一連の航海をきっかけとして、世界の各地域に起源をもつ作物が新たに別の地域でも栽培されるようになった。次の語群の中から、いわゆる「新大陸」に起源を持つ作物を 4 つ挙げなさい。

小麦・バナナ・ジャガイモ・ブドウ・オレンジ・オリーブ・タバコ  
トマト・リンゴ・トウモロコシ